



# 東方選書

四六判／並製

古代から現代まで、中国の歴史・文化・社会をわかりやすく知するためのコンパクトな読み物シリーズを分野別にご紹介します。



東方書店【中国・本の情報館】<https://www.toho-shoten.co.jp>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-3 mail: [tokyo@toho-shoten.co.jp](mailto:tokyo@toho-shoten.co.jp)

営業電話 03-3937-0300 / FAX03-3937-0955



東方書店のウェブマガジン WEB『東方』

[https://www.toho-shoten.co.jp/web\\_toho](https://www.toho-shoten.co.jp/web_toho)



Twitter でも情報発信中！

@tohoshoten



語学のオシ！



## 中国語とはどのような言語か

橋本陽介著／基本文法、語彙、品詞から、「連続構造」、「流水文」まで、中国語の特徴を概説。英語や日本語文法との比較によって視点を広げ、個別テーマの先行研究などを紹介する「読書案内」も充実。学習の疑問点の解消に、中国語文法の復習に、研究のヒントに、あらゆる場面で役立つ1冊。

(東方選書 59) 280頁◎税込 2640円 978-4-497-22210-7 (2022年) 電子版あり

## 中国語を歩く 辞書と街角の考現学

荒川清秀著／街角で目にする身近な漢字から、さらに辞書の行間から。飽くなき探求心をもってすれば、ことばはこんなに面白い！長年中国語を見つめてきた著者の観察眼が光る、知的・軽快な語学エッセイ。(東方選書 37) 304頁◎税込 1980円 978-4-497-20909-2 (2009年) Kindle版あり

## 中国語を歩く〈パート2〉 辞書と街角の考現学

荒川清秀著／中国の街角で出会う漢字から、同じ漢字社会である日中両国の文化・習慣・考え方の違いが見えてくる。座談会「『現代漢語詞典』をめぐる」(荒川清秀×遠藤雅裕×三宅登之)も収録。(東方選書 45) 312頁◎税込 2200円 978-4-497-21410-2 (2014年)

## 中国語を歩く〈パート3〉 辞書と街角の考現学

荒川清秀著／中国の街角で出会う漢字を追いかけ、語彙や文法的側面から分析。言葉の背景にある文化や習慣にも言及し、日々進化する中国語を読み解く。特別編「街の中国語から見えてくるもの」「わたしの道具部屋」を収録。(東方選書 49) 292頁◎税込 2200円 978-4-497-21802-5 (2018年) Kindle版あり

**歴史のオシ！**

## 漢とは何か

岡田和一郎・永田拓治編／中国史に君臨する漢王朝像（イメージ）を解き明かす。中国史上において、漢王朝がどのように規範化されていったのか——前漢から唐までを区切りとして明らかにする。

（**東方選書 58**）268 頁◎税込 2420 円 978-4-497-22203-9（2022 年）



## 妻と娘の唐宋時代

大澤正昭著／歴史のなかで、名前やときには存在すら見えなくなっている女性の姿をどうとらえ、実像にせまっていくのか。史料の選択と扱い方を唐代、宋代の妻と娘の生き方を例に示す女性史・社会史研究入門書。

（**東方選書 55**）296 頁◎税込 2420 円 978-4-497-22110-0（2021 年）

## 地下からの贈り物

新出土資料が語るいにしへの中国

中国出土資料学会編／近年飛躍的に増加した中国の新出土資料。どこからどのようなものが出てきたのか、それを使って何がわかるのか。歴史・文学・思想・考古・医学など多方面にわたる研究者が最新の成果を紹介する。（**東方選書 46**）384 頁◎税込 2200 円 978-4-497-21411-9（2014 年）

## 三国志の考古学

出土資料からみた三国志と三国時代

関尾史郎著／簡牘、石刻、漆器、墓葬壁画など発掘調査によって出土した資料を駆使しながら三国時代の諸問題を考察。膨大な研究史を整理した上で、新たな知見を提供し、正史『三国志』の解釈にも見直しを迫る。（**東方選書 52**）336 頁◎税込 2200 円 978-4-497-21913-8（2019 年）Kindle 版あり

## 占いと中国古代の社会

発掘された古文書が語る

工藤元男著／巫風豊かな楚地に生まれ、秦漢帝国を媒介として各地に伝播し、解体していった中国古代の占ト（占い）文化。主に占ト書「日書」を読み解きながら、古代の人々の生活と社会の実態を明らかにする。（**東方選書 42**）290 頁◎税込 2200 円 978-4-497-21110-1（2011 年）

## 中国の神獣・悪鬼たち

山海経の世界（増補改訂版）

伊藤清司著／慶應義塾大学古代中国研究会編／『山海経』を手がかりに、古代人が「外なる世界」に住まう超自然的存在をいかに恐れた活用していたのかを探る。初版 1986 年。現在の研究状況の概説と補論を付す。（**東方選書 44**）328 頁◎税込 2200 円 978-4-497-21307-5（2013 年）Kindle 版あり

歴史のオシ！



## 北魏史 洛陽遷都の前と後

窪添慶文著／分裂の時代、魏晋南北朝時代にあつて、150年近く続いた北魏とはどのような国であったのか。第7代孝文帝の改革から説きはじめて北魏の興亡を語り、隋唐時代に与えた影響を考察する。

(東方選書 54) 312頁◎税込 2420円 978-4-497-22024-0 (2020年)



## 天変地異はどう語られてきたか

中国・日本・朝鮮・東南アジア

串田久治編著／歴史・宗教・地域研究者9名が、アジア各地で地震・水害・疫病・異常気象などの「天変地異」をどのように語り継いできたかをひもとく。

(東方選書 53) 296頁◎税込 2420円 978-4-497-22001-1 (2020年) **Kindle版あり**

きょうど

## 匈奴 古代遊牧国家の興亡 (新訂版)

沢田勲著／前2～後1世紀にかけて北アジア史上最初に登場した騎馬遊牧民の歴史をたどるとともに、考古学的知見をもとに社会・文化を紹介。ユーラシア内陸部の遊牧民が東西の歴史に及ぼした影響をも考察する。(東方選書 48) 256頁◎税込 2200円 978-4-497-21514-7 (2015年) **Kindle版あり**

だいげっし

## 大月氏 中央アジアに謎の民族を尋ねて (新装版)

小谷仲男著／シルクロードの開拓者として名高い漢の張騫が目指した遊牧民族の国・大月氏。本書では、中央アジアの考古学資料を紹介し、その成果を活用して大月氏の実態解明を試みる。装幀・組版を一新した新装版。(東方選書 38) 256頁◎税込 2200円 978-4-497-21005-0 (2010年) **Kindle版あり**

ごこじゅうろくこく

## 五胡十六国 中国史上の民族大移動 (新訂版)

三崎良章著／3世紀末から5世紀半ばの「五胡十六国時代」に光を当て、中国社会が多民族の融合の上に形成されたことを史料のみならず墓室画像などの出土品も用いて明らかにする。2002年刊行書籍の新訂版。(東方選書 43) 240頁◎税込 2200円 978-4-497-21222-1 (2012年) **Kindle版あり**

きったんこく

## 契丹国 遊牧の民キタイの王朝 (新装版)

島田正郎著／9世紀半ばの北・中央アジアで勢威をふるったキタイ(契丹=遼)国について概説。著者が還暦に記した「回想」と、「島田正郎先生の横顔——『契丹国』再刊に寄せて」(岡野誠)を付す。(東方選書 47) 256頁◎税込 2200円 978-4-497-21419-5 (2014年) **Kindle版あり**

文学のオシ！



## 中国文学の歴史 古代から唐宋まで

安藤信廣著／人は時代や自分の内面とどう向きあい、言葉にあらわしてきたのか。「詩詞」「文学」の系譜のみならず、『論語』など思想をあらわす「文章」の系統も概観し、多彩な文学形式を生み出した、表現することへの強い思いを見ていく。(東方選書 56) 360 頁◎税込 2640 円 978-4-497-22112-4 (2021 年)

## 魯迅と紹興酒 お酒で読み解く現代中国文化史

藤井省三著／中国文学研究者にして愛飲家の著者が、文学や映画に描かれた酒の風景をたどり、時には自身の体験を交えながら、改革・開放経済体制以後の 40 年で大変貌を遂げた現代中国を語る。(東方選書 50) 286 頁◎税込 2200 円 978-4-497-21819-3 (2018 年) Kindle 版あり

## 三国志演義の世界 (増補版)

金文京著／史実と虚構を交えた叙述スタイルから、背後の出版文化や政治思想まで。『三国志演義』を生んだ中国的世界を解明する名著に、近年の研究成果を反映させた増補版。日本と韓国における受容の様相も明らかに。(東方選書 39) 312 頁◎税込 1980 円 978-4-497-21009-8 (2010 年)

漢字学のオシ！



## 漢字の音 中国から日本、古代から現代へ

落合淳思著／形声文字の古代中国での発音をひもとくことで、日本の呉音・漢音・慣用音への「みちすじ」を解明する世界初の試み。漢字の読み方に関するコラムも多数収録。(東方選書 57) 248 頁◎税込 2640 円 978-4-497-22201-5 (2022 年)

## 書と思想 歴史上の人物から見る日中書法文化

松宮貴之著／王羲之、顔真卿、乾隆帝、毛沢東、聖徳太子、空海、最澄、副島種臣など、歴史上の人物の「書」に現れる「思想」を解き明かす。約 170 点の図版と釈文を収録する。(東方選書 51) 336 頁◎税込 2200 円 978-4-497-21903-9 (2019 年) Kindle 版あり

## 嚴復 富国強兵に挑んだ清末思想家

永田圭介著／『天演論』で魯迅に衝撃を与え、日本の福澤諭吉にも比肩される清末の啓蒙思想家・嚴復。民族淘汰の時代、祖国のために「富強」への道を模索した生涯を、同時代の日本の歩みを視野に入れながら描く評伝。(東方選書 41) 360 頁◎税込 2200 円 978-4-497-21113-2 (2011 年)

## 書誌学のすすめ 中国の愛書文化に学ぶ

高橋智著／「善本」を懇切に講義。書物の誕生から終焉、再生と流転までの生涯とともに、中国歴代の書物文化史を概観。現代書誌学による調査の実例や、「中華再造善本」「古籍普查」など中国の最新動向も伝える。(東方選書 40) 288 頁◎税込 2200 円 978-4-497-21014-2 (2010 年)